

京都モデルフォレスト協会 平成24年度事業報告

1 京都モデルフォレスト運動の普及啓発

(1) モデルフォレスト運動の新たなスタート

今年、協会が発足して5年余りが経過し、またモデルフォレスト運動が提唱されることとなった「地球サミット」から20年という節目の年を迎え、セカンドステージとして府民参加型の取組を充実させ、モデルフォレスト運動の一層の発展を図ることとしました。

(2) 第1回森林・林業京都会議、モデルフォレスト推進大会の開催(3/5)

森林保全や林業から木材流通、住宅建築等に取り組む企業や団体など森林・林業に関する川上から川下が一体となって府内産木材の利用拡大と森林の整備を進めるため、「森林・林業京都会議」を当協会、京都府並びに関係団体の共催によりルビノ京都堀川において開催しました。

川上から川下まで関係者が一堂に会する初めての取組で関係者約400人の参加がありました。



分科会としてモデルフォレスト推進大会、森林・林業活性化大会、木材利用拡大大会を開催。このうちモデルフォレスト推進大会では京都府立林業大学校只木校長から「モデルフォレスト運動への期待」と題して講演をいただき、続いて府内でモデルフォレスト活動をされている「西山森林整備推進協議会」「三洋化成工業(株)」「(株)村田製作所」「グンゼ(株)」「宮津ふるさとの森を育てる協議会」からそれぞれの取組報告をしていただき情報交換と意見交換を実施しました。



(3) 普及啓発イベント等でモデルフォレスト運動をPR

- 新緑祭 in 府民の森ひよし (5/2～5) ※京都府と共催
府民の森ひよしにおいて、府民探鳥会、モノレール体験、木工教室等を開催
- 「モントリオール国際会議」で山田知事が京都モデルフォレスト運動を世界に発信 (6/12)
- 京都大作戦 (太陽が丘での野外コンサート)
(7/7～8) 「フォレスタージュ」、「森なかま」と共に活動のPRと緑の募金活動
- 由良川市民講座にパネル展示
(7/8) ※京都府中丹振興局、京都大学フィールド科学教育研究センターに協力

- 水都大阪森林の市にブース出展
(10/7)
- 農林水産フェスティバル（パルスプラザ）にブース出展
(12/1～2)
- 京都環境フェスティバル（パルスプラザ）にブース出展
(12/8～9)

(4) 自然観察ツアー「秋の花背三本杉と大悲山峰定寺を訪ねて」(11/10)

京都モデルフォレスト運動のセカンドステージとして府民参加型のモデルフォレスト運動の推進のため、協会の会員や府民の方に森林に親しんでいただき京都モデルフォレスト運動への理解を深めていただくことを目的に自然観察ツアー「秋の花背三本杉と大悲山峰定寺を訪ねて」を開催しました。

協会会員等約 50 人の参加がありました。



最初に訪れた大悲山峰定寺では、ご住職の中村覚祐師（聖護院門跡執事長）から、当寺の歴史を交えた講話をお聞きし、本堂（舞台懸崖造り）への参拝と宝物館に収蔵されているご本尊などのお話を伺い、あらためてお寺の歴史と仏像また木造建造物の耐久性などを知る機会となりました。

また、京都森林インストラクター会による草木などの自然の生態や説明を聞きながら花背三本杉へと向かいました。古き時代からこの地にある圧倒的な存在感に胸を打たれ命の尊さを学びました。

(5) 広報誌『以森伝心』の発行、HPでの情報発信ほか

- 広報紙「以森伝心」を年 3 回発行し、会員の皆様に協会の取組状況のお知らせや森林に関する情報をお届けしたほか、協会HP（<http://www.kyoto-modelforest.jp>）では協会の活動趣旨や取組状況、イベント等のお知らせなどを情報発信し京都モデルフォレスト運動の普及に取り組みました。なお、情報誌発行にあたっては協会会員のボランティアによる「チーム以森伝心」も取材記事を作成しました。
- 大学や企業団体等からの要請を受けて、モデルフォレスト運動の意義や取組状況、森林を守り育むことの重要性等を説明し、活動への参加を呼びかけました。
- 定時総会(5/14)の記念講演として、京都府立林業大学校長で協会顧問の 只木良也氏から「森づくりとこれからの人材育成」と題して講演をいただきました。

(6) “リオ+20 報告会in京都”での報告

9 月 15 日京都府立大学において、「リオ+20 報告会 in 京都」と題して、モデルフォレスト運動が提唱されることとなったブラジルのリオ・デジャネイロでの「国連持続可能な開発会議」から 20 年を記念して、企業・団体に森林づくりをされている関係

者、府立大学関係者やモデルフォレスト運動に関心のある方など約 200 名が集まって報告会が開催されました。

協会からは、小澤普照顧問、山本英明協会理事が参加し、モデルフォレスト運動の今後の展開等の意見交換を行いました。

(7) 京都新聞に連載広告を掲載

企業参加の森林づくり活動を PR し、さらに企業等の参加を促進するため、過年度から実施してきている「美しい森林づくりの新たな担い手」と題してのシリーズ広告を京都新聞に掲載しました。

今年度に広告を掲載した企業等は、関西電力労働組合、日東精工、龍谷大学の 3 団体です。

2 森林ボランティア活動の推進

① 竹の環プロジェクト開催（4/21…雨天のため中止、10/20）

平成 19 年度から毎年春・秋の 2 回にわたり京大桂キャンパス内において竹林の整備やタケノコ掘り等を実施しています。春は雨天のため中止となりました。

秋は、住友生命、京都大学、協会会員や周辺住民等から約 95 名の参加がありました。



② 「京の七夕」用の竹材提供活動を実施（6/30 京大桂キャンパス）

昨年度に引き続き「京の七夕」行事に必要な竹材を供給するために、会員等 50 名の参加を得て、京都大学桂キャンパス内の竹林整備を実施しました。

30 本以上の伐採した竹材が「京の七夕」行事に利用されました。



③ 近畿地区「森づくり活動コーディネーター養成ブロック研修」の開催（3/8～10）

今年度は、三重県緑化推進協会が担当となり地域や企業等において自立的、持続的な森づくり活動を行おうとしている団体で、企画や運営に携わっている者を対象に、組織運営や魅力的な活動の企画・運営の手法等の習得を図るための研修を開催し、近畿 2 府 5 県から約 30 名の受講がありました。

里山の講義、組織の課題の解決方法、里山林の利用実習施設の見学などを行いました。

3 企業等の参加による森林づくり活動の推進

(1) 企業等からの寄付金による森林づくり事業の展開

企業等からの寄付を原資に、京都府森林利用保全重点区域等の森林整備を推進し、森林の公益的機能を確保するため森林づくり基金事業を設けている。24 年度は、それぞれの企業等が参加している森林づくり活動地への寄付（計 3,018 千円）のほか、次の企業等から府内の森林づくりのために寄付をいただき、森林づくり基金運営委員会（8/8 開催）で審議の上、府内の森林整備等に活用しました。

寄付者	寄付金額 (千円)	備考
JR 西日本	4,922	
コカコーラウエスト自販機	131	
近畿自販機サービス	2	
(社)京都府トラック協会	500	

<寄附金による森林づくり基金事業の状況>

事業実施地域	交付額 (千円)	事業実施地域	交付額 (千円)
宇治田原町立川御林山	667	亀岡市宮前町神前	96
宇治田原町南相度々	500	亀岡市篠町王子西長尾	419
宇治市炭山乾谷	500	亀岡市旭町湯谷山	150
和東町大字湯船	1,029	亀岡市東別院町東掛桜峠地内	829
宮津市小田	500	大山崎町字大山崎小字古城	480
南丹市八木町北広瀬	300	長岡京市浄土谷	899
南丹市八木町玉ノ井	559	計	6,928

(2) 企業等の参加による森林づくり活動の展開

24 年度は株式会社京都銀行、京セラ株式会社が新たに森林づくりに参加され、府内での企業等の活動は 35 ヶ所、38 団体に拡大しました。

1) 地域住民等と連携した協議会等を設置 9 箇所

- 丹後モデルフォレスト地域協議会
- 毛原地域森林利用保全活動協議会
- 美山産官学公連携協議会（モデルフォレスト推進プロジェクト）
- 西山森林整備推進協議会
- 山城モデルフォレスト推進協議会
- 宮津ふるさとの森を育てる協議会
- 神前モデルフォレスト推進協議会
- 天王山周辺森林整備推進協議会
- 井手町豊かな緑と清流を守る協議会

2) 企業・団体等による森林づくり活動の概要

京都モデルフォレスト協会、市町村、京都府等と協定を締結するなどにより、森林づくり活動を行っている企業等の位置図は、別添のとおりです。

① 活動の主な目的

活動の主な目的	企業等数	企業等名
環境保全 温暖化防止への貢献	19	東芝、NTTドコモ、 積水化学工業、エスベック、 パナソニックフォト・ライティング、KDDI、 ニッセイ、住友生命、京都大学、島津製作所、 オムロン、BATジャパン、カミッグ、 モリカワグループ、京都生協、 宮津ふるさとの森を育てる協議会、カシックス、 関西電力労働組合京都地区本部、京セラ
社会・地域貢献	15	村田製作所、三共精機、佛教大学、 全労済、三洋電機、平和堂、 京都乙訓ロータリー、ワタキューセイモア、 三洋化成工業、グンゼ、虎屋、陸上自衛隊、 日東精工、龍谷大学、京都銀行
水源林の保全	3	サントリー、コカ・コーラウエスト、京都南ラ イオンズ
伝統行事への貢献	1	三井物産

② 活動の形態

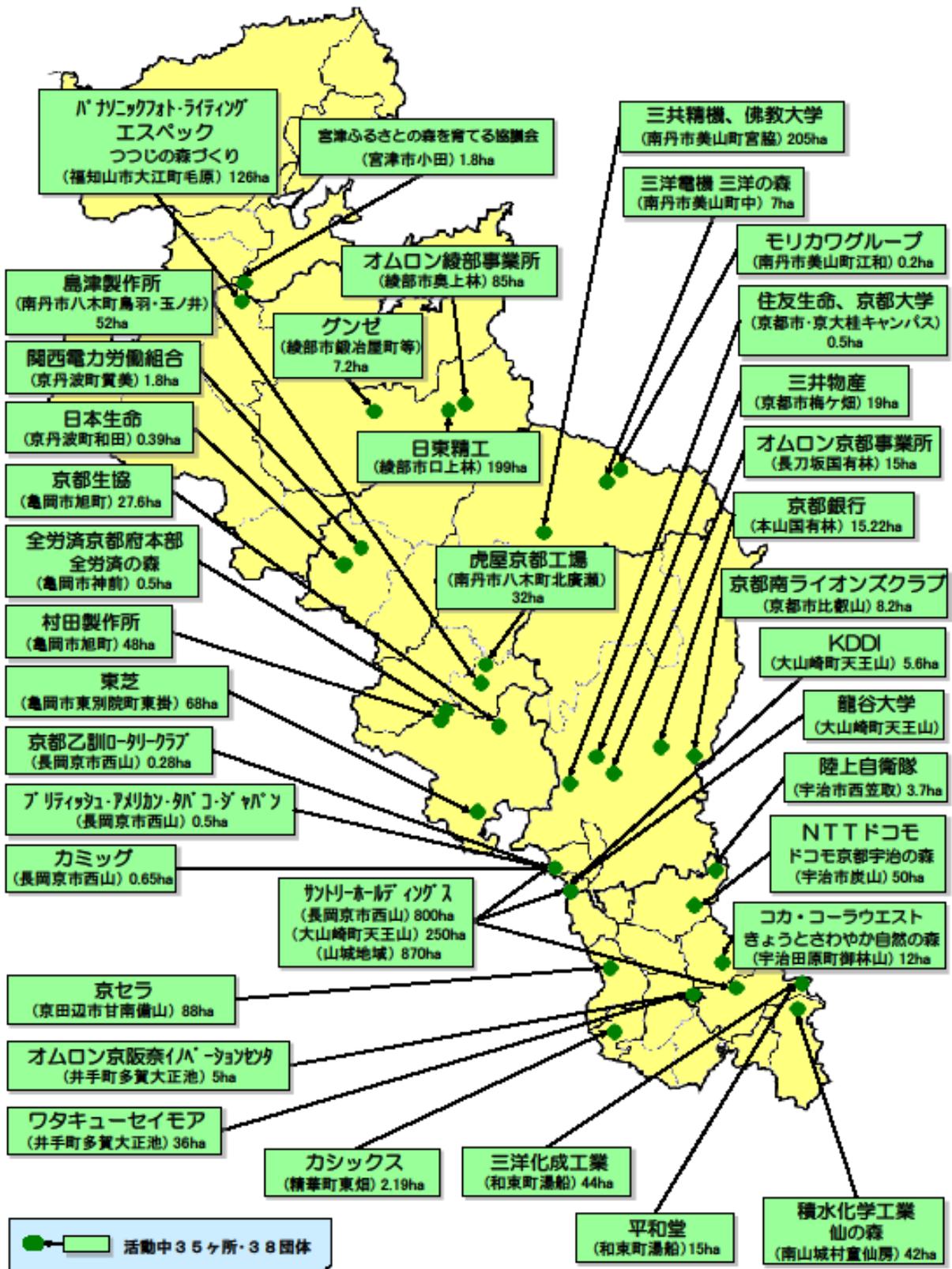
形態	企業等数
① 社員等のボランティア活動	25
② ボランティア活動と資金提供	12
③ 資金提供	1

④ 主な活動内容と年間の活動回数

主な活動内容	企業等数
広葉樹の整備	30
人工林の整備	14
竹林の整備	9
木工等	9
環境学習等	17

年間活動回数	企業等数
2回程度	31
5回程度	4
6回以上	3

企業参加の森づくり 実施地域等 (35箇所38団体)



4 緑の募金の推進

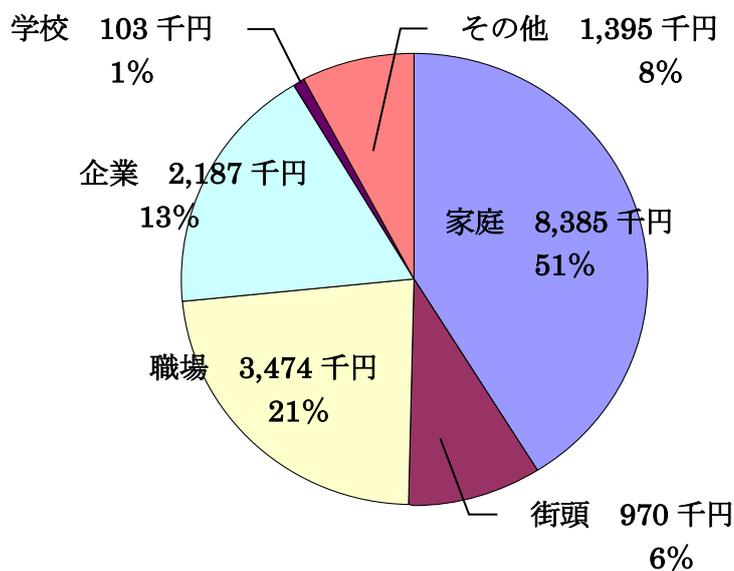
(1) 緑の募金活動の実施

平成 24 年度の緑の募金活動は、春募金は 3 月 1 日～5 月 31 日、秋募金は 9 月 1 日～10 月 31 日までを募金強化期間として、協会、京都府、市町村、関係団体並びに企業等との協力・連携の下、取り組みました。

企業等からの大口募金が減少したため、企業募金等が伸び悩み、募金額については昨年の 95.2% 募金実績は 16,514,701 円、に止まりました。

期	目標額	春期募金実績	秋期募金実績	合計	前年比
H24	20,000,000 円	13,135,538 円	3,379,163 円	16,514,701 円	95.2%
H23	21,000,000 円	9,634,668 円	7,704,566 円	17,339,234 円	98.0%
H22	21,000,000 円	15,021,715 円	2,673,013 円	17,694,728 円	89.7%
H21	20,000,000 円	15,713,844 円	4,016,411 円	19,730,255 円	108.1%
H20	20,000,000 円	14,963,309 円	3,280,168 円	18,243,477 円	107.2%
H19	20,000,000 円	14,350,716 円	2,671,045 円	17,021,761 円	111.4%

緑の募金の方法別内訳



・ 企業のCSR活動の一環としての募金活動

企業 CSR 活動の一環として、積極的に緑の募金キャンペーンを展開いただいた。

<キャンペーン>

- ・ 日本ハム西販売(株)：『森の薫り』関連商品の販売数に応じて募金
- ・ ジュビラン協同組合：加盟店に緑の募金を呼びかけ集約

・ **飲料自動販売機で募金活動**

飲料会社と自動販売機設置オーナーとで契約後、毎月、売上に応じて緑の募金を寄付いただいております。現在、府内 51 社の協力を得て設置されています。平成 24 年の自動販売機による募金額は 1,372,873 円となっています。

【協力飲料会社】

ダイドードリンコ(株)、近畿中四国ペプシコーラ販売(株)、(株)伊藤園、アサヒカルピスビバレッジ(株)、関西キリンビバレッジサービス(株)、ジャパンビバレッジサービス(株)、サンフーズオペレーション(株)

(2) **緑の募金による各種事業**

緑の募金は、学識経験者等で構成する「緑の募金運営協議会」で審議（2/13 に開催）の上、事業実施希望者を公募するなどして、森林整備、緑化推進、緑の少年団活動等の森林環境教育、緑化や森林づくりの普及啓発等に活用しました。

① **森林整備**（1,301 千円）

ボーイスカウトやガールスカウトが行う森林愛護活動に対し、資材等の購入に必要な経費及び森林整備活動や研修の経費について助成しました。

また、森林ボランティア団体等による、京都府民参加型の森林整備・保全活動等を支援するための助成金を交付しました。

【24 年度取り組み団体】

団体名	事業名
特定非営利活動法人 ナチュラル	井手山縁地区荒廃竹林・田整備
特定非営利活動法人 加茂女	放置竹林整備活動
せいか里山の会	自然環境保全活動
フォレスターうじ	森林公園整備
特定非営利活動法人 京都発・竹・流域環境ネット	里山環境保全
特定非営利活動法人 八幡たけくらぶ	放置竹林整備活動
天王山周辺森林整備推進協議会	天王山マツ山再生プロジェクト
特定非営利活動法人 和の学校	竹林の保全と利用法
布敷地域ビジョン実行委員会	緑化・環境保全
塔町財産管理会	森林再生事業
亀岡里山クラブ	森林整備
虎屋モデルフォレスト推進協力会	豊かな里山づくり運動
特定非営利活動法人 胡麻地域振興会	『丸山』再生事業

② 緑化推進 (2,820 千円)

ア 地域緑化

地域での緑化を推進するため、府内の老人クラブに委託して養成されたサツキツツジの苗木 160 本と京都府緑化センターから購入した桜苗木 310 本を地域の団体に無償配布し、公園や道路沿線、公共施設等に植栽しました。

<緑化樹委託先> 今山長春クラブ (南山城村)、船枝紫雲クラブ (南丹市)

<主な配布先> 南京都病院、丹波町猪鼻憩いの公園、久美浜町鹿野多目的広場など

イ 学校緑化

教育環境の整備と緑を愛し育てる心を育むため、府内の小中学校 20 校に対し、植樹木の購入等に要する経費に対して助成しました。

学校名	学校名	学校名
京都市立七条小学校	八幡市立男山第二中学校	綾部市立志賀小学校
京都市立南大内小学校	木津川市立相楽台小学校	福知山市立金谷小学校
京都市立百々小学校	亀岡市立高田中学校	与謝野町立桑飼小学校
京都市立納所小学校	南丹市立殿田中学校	宮津市立府中中学校
向日市立第 2 向陽小学校	南丹市立園部小学校	京丹後市立間人小学校
長岡京市立長岡第四中学	南丹市立園部中学校	京丹後市立長岡小学校
城陽市立久津川小学校	南丹市立神吉小学校	

<ローソン緑の募金による学校緑化>

京丹後市立島津小学校

精華町立山田荘小学校

<GGG(ゴルフ緑化促進会)緑化協力金による学校緑化>

京都市立洛北中学校

ウ 緑化運動・愛鳥週間ポスターコンクール

京都府と共催で、府内小中高校の生徒等を対象に緑化及び愛鳥ポスターコンクールを実施した。優秀作品は、8 月 17 日から 20 日までイオンモール京都五条 (京都市右京区) 等で展示するとともに、表彰式を開催しました。また、全国応募のポスター原画コンクールに応募した。

応募総数 緑化運動ポスター : 194 校 1,428 点

愛鳥週間ポスター : 200 校 1,545 点 計 2,973 点

★平成 25 年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入選作品



野村陽人さんの作品



井村虹太さんの作品



前川琴瑚さんの作品



片山美樹さんの作品

エ 緑の少年団等育成

森林や緑の大切さを学ぶ緑の少年団活動を支援しました。

また、今年度新たにガールスカウト京都府第 57 団緑の少年団、日本ボーイスカウト亀岡第 1 団緑の少年団の 2 団が設立され、新規結成支援助成金を交付しました。

③ 地域での取組支援(緑の募金交付金) (10,132 千円)

地域の緑化推進団体(緑の募金支援団体)が、それぞれの地域で森林整備、植樹祭、緑の少年団育成等の森林や緑を守り育てる取組みを実施するための経費として、各団体の緑の募金実績の 75%を交付するとともに、緑の募金法施行規則第 6 条に基づき(公社)国土緑化推進機構に中央交付金を交付しました。

平成 24 年度 緑の募金交付金一覧

交付先	交付額 (千円)	主な取組
京都・乙訓緑化推進委員会	1,382	ボーイスカウト・ガールスカウトの森林整備活動 森林ボランティア団体活動支援、都市緑化、学校緑化、森林整備・緑化推進啓発活動
山城モデルフォレスト推進協議会	1,449	森林ボランティア団体活動支援、緑の少年団、愛鳥モデル校活動助成、植樹助成等
(財)亀岡市都市緑花協会	1,150	苗木・プランター配布、花づくりコンクール、緑の少年団活動
南丹・京丹波林業振興会	493	緑化樹の苗木配布
福知山緑化推進委員会	1,239	森林ボランティア団体活動支援、地域緑化事業、千年の森メモリアル植樹祭、緑の少年団活動
舞鶴市緑化推進委員会	2,006	地域緑化、学校緑化、植樹祭開催、青少年の団体育成活動助成等
綾部緑化推進委員会	569	苗木配布、緑の少年団活動助成等
与謝地方林業振興会	405	地域の植樹活動支援、緑の少年団活動等
丹後地方林業振興会	114	植樹、緑の少年団活動等助成
小計 9 団体	8,807	
(社)国土緑化推進機構	1,325	

今年度から(公社)国土緑化推進機構への交付金は、東日本大震災被災地域の復旧・復興を支援するため、従前の募金額の 3%+500 千円から 5%+500 千円に引き上げられています。